

# 社会とのかかわり

日本化薬グループは、ステークホルダーの皆さまへ向け、情報を迅速、正確に、そしてわかりやすく提供するように努めています。当社グループをより理解していただくことにより、多くの要望や期待を創り出し、それに応えて、さらなる最良の製品を提供することが私たちの使命と考えています。

## LRIへの支援

LRIとはLong-range Research Initiative（長期自主研究）の略で、ICCA（国際化学工業協会協議会：International Council of Chemical Association）が行っている自主活動のひとつです。人の健康や環境に及ぼす化学物質の影響に関する研究を長期的に支援しています。日本では社団法人日本化学工業協会が中心となり、内分泌かく乱物質（環境ホルモン）、神経毒性、化学発がん、過敏症（免疫毒性およびアレルギー）の4分野に焦点をあてて研究を支援しています。

当社は、このLRI支援活動が開始された1999年から積極的に賛同し、LRI支援活動のための資金を出資しています。



「LRI」  
<http://www.j-lri.org/>

## ピンクリボン活動「乳がんの早期発見・早期診断・早期治療推進のために」

全世界で乳がん罹患される方が年々増加している中、その死亡率は欧米では減少傾向にあるのに対し、日本では増加しています。死亡率を下げるためには、的確な診断・治療が早期に行われることが重要です。

日本化薬は、医療の質の向上と当社製品の適正使用の普及に関する情報提供を目的として、医療従事者を対象

とした画像診断（マンモグラフィ、超音波等）や治療に関する勉強会を各地で支援しています。

また、毎年10月のピンクリボン活動月間には、一般の方々には乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを呼びかけるため、最寄り駅でキャンペーングッズの配布を行うなどさまざまな活動をしています。



協賛している乳がん情報サイト「乳がんinfoナビ」  
[http://www.nyugan-infonavi.jp/n\\_navi/](http://www.nyugan-infonavi.jp/n_navi/)

## Voice



グループ管理本部  
 法務総務部  
 大橋 尚子

昨年、ピンクリボン活動の一環としてキャンペーングッズの配布活動に参加しました。街頭で実際に配布して、特に若い人たちには乳がん検診はまだまだなじみが薄いことがわかりました。一方で、たくさんの人に呼びかけることができ、これを機に自分だけでなく周囲の大事な人たちへも受診を勧めてほしいと思いました。

今回の活動で、私自身も検診に対する意識が高くなりました。日本化薬グループはがんにかかわる製品を取り扱う企業集団として、製品の提供だけでなく、このような活動を通してがんの早期発見の大切さを訴え続けていくべきだと感じました。

## 難病とたたかう子どもと家族の滞在施設 「あすなろの家」

小児がん、膠原病などの難病に苦しむ子どもが遠方の専門医療施設に入院するケースは、少なくありません。子どもの病状の回復を願う両親などの介護者たちは、その間、宿泊・滞在のためビジネスホテルなどを利用せねばならず、経済的負担は重くのしかかってきます。

こうした中で日本化薬は、「難病とたたかう子どもと家族の手助けを」を合言葉に、創立80周年記念事業の一環として、埼玉県さいたま市に介護者用滞在施設「あすなろの家」を開設し、運営しています。1998年12月のオープン以来、全国各地から多くの方にご利用いただき、昨年10周年を迎えました。

この施設(1階)は、单身者向け社宅(2~4階)に併設されていますが、出入口をはじめとして介護者が生活する上での機能やスペースは、完全に分離した構造となっています。個室は10室あり、利用者のプライバシーを守るとともに、闘病生活を送る子どもを持つ親同士が交流を図ることができるよう、共同キッチン、食堂、談話コーナーや子どもたちのプレイルームなどを設け、介護者の精神的負担を軽減する手助けとなるよう工夫されています。

日本化薬は、「あすなろの家」が介護者の経済的、精神的負担を軽減する手助けとなり、励ましの場となるような運営に努めるとともに、今後も社会に貢献できる企業として役割を果たしていきたいと考えています。

(連絡先電話番号：048-658-5861 あすなろの家ハウスマネージャー)



玄関



和室



洋室



プレイルーム



食堂



調理場

### 2008年(1~12月)地域別利用状況

